

学会誌を当初年4回発行することを予定していたが、世界的な経済危機のため、思ったように広告費が集まらず、仕方なく年2回の発行に変更することになった。また経費節減のため、第2号は日本臨床検査学教育協議会の会員校を紹介する「教育機関紹介特集号」と一緒に送付することになりボリュームを小さくしたのだが、残念なことに「教育機関紹介特集号」の原稿の一部が間に合わず、余儀なく単独で送付することになった。

「教育機関紹介特集号」は、会員校の概略と最近の動向とともに、教員情報を掲載することにより、会員校の教員間の情報交換や相互交流を活性化させ、臨床検査技師教育施設全体のレベルアップと継続的な発展を促すことを目的とし、2年毎に発行する予定である。

平成18年より毎年8月に日本臨床検査学教育学会が開催され、全国の臨床検査技師教育施設の教員が一堂に会して、技師教育について議論する場が提供されている。しかし、学会の開催時期以外でも、教育内容や方法について、同じ教科を担当している教員と意見交換をしたり、教えてもらったりすることでできればと思っておられる方は多いのではないだろうか。しかし、医学科や薬学部や国公立私立研究所の教員や研究者の全国名簿は存在するのだが、臨床検査技師教育施設の教員の全国名簿がないため、大変不便を感じておられる方も多いと思う。そのため私がこの学会誌「臨床検査学教育」の編集委員長に任命されたときに真っ先に思ったことが、日本臨床

検査学教育協議会の会員校の教員名簿を作成したいということであった。

本号の主張「臨床検査を活かす技師を育てよう！」の中でも紹介したが、企業などの組織が良い方向へ力強く成長していくためには、「総合的質管理(TQM)」が必須である。要は、組織のすべての構成員が「質の概念」を理解し、「質管理の4原則」である顧客本位、全員参加、標準化(ベストプラクティスの共有)、継続的改善を着実に実行することにある。このことを教育施設に当てはめれば、質とは学生の満足度であり、学生の将来のために、教員全員が一丸となって、学生の将来にとって最もよい教育内容を最もよい教育方法で教え、その内容・方法を時代の要請にそって継続的に改善していく、ということになる。そして、このTQMをうまく機能させるためには、立派な臨床検査技師を育成したいと願っている多様な人材が集まり、自由に議論し継続的に相互交流して、各々の知識や技術を深めながら新しく創造していくことができる「知識創造の場」の存在が大切である。現在、臨床検査技師教育施設の教員の多くは、自分と同じ教科を担当している全国の教員の名前をほとんど知らない。そのような状況ではお互いに相互交流することなど全く不可能である。「教育機関紹介特集号」の発行が、臨床検査技師教育施設の「知識創造の場」を形成するための第一歩となることを期待し、準備を進めている。

(平成21年8月30日 編集委員長 岩谷良則)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部
編集委員会(平成20・21年度)

委員長：岩谷良則(大阪大学)、副委員長：戸塚 実(東京医科歯科大学)、委員：市原清志(山口大学)、江本正志(群馬大学)、奥村伸生(信州大学)、北里英郎(北里大学)、熊取厚志(千葉科学大学)、森山隆則(北海道大学)、横井 昭(藤田保健衛生大学短期大学)、横井豊治(名古屋大学)

臨床検査学教育 第1巻2号

平成21年9月1日 発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 三村邦裕
〒143-0024 東京都大田区中央3-22-14
(昭和医療技術専門学校内)
Tel. 03-3775-1611 FAX 03-3775-4304
<http://www.nitirinkyo.jp>

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
E mail : edit@jamte.org
制作：(株)宇宙堂八木書店
〒104-0004 東京都中央区入船3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770
広告取扱社：(株)東広社
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-3-8
Tel. 03-3409-8803